

選ばれる介護事業所になる方法セミナー

～介護事故とクレーム対応の基本から、高齢者虐待対応、M & Aまで～

セミナー内容

第1講座 < メイン講座 >

『選ばれる介護事業所がやっている介護事故とクレームの対応方法』

弁護士 海津 諭

入居者や利用者の転倒事故、誤嚥事後及び徘徊事故など、近年では、介護事業所にとって介護事故の問題は避けて通れない問題です。また、入居者やその親族からの言われのないハードクレームを受け、事業者が対応に苦慮すること少なくありません。このような介護事故やクレーム対応については、事業者にとって、施設利用者や施設職員に不安を生じさせ、対応にかかる労務コストや裁判になった場合の風評被害など、その負担は決して軽視できません。本講座では、介護事業所が問題が生じる前に準備しておくべきことは何か、また、問題が発生した場合には、どのような初期対応をすべきなのか、さらに、裁判を避けるためにはどう対応すべきなのか、といった点について、具体的な事例をもとに弁護士が解説致します。

弁護士 海津 諭 プロフィール

燕市出身。新潟第一法律事務所理事。介護関連に豊富な経験があり、これまでの解決事例に基づき解説します。介護を巡る法律問題をわかり易く解説します。『KomachiWeb』で介護をテーマにした記事も掲載。

第2講座

『介護事業の M&A について』

弁護士 今井 慶貴

本年度の介護報酬改定に伴い、介護事業の M & A が活発化しています。M & A を検討されている方はもちろん、今すぐには事業の売却や購入を予定されていない事業者の方でも、M & A の基本について押さえておくことは、有益であると考えます。本講座では、介護事業者として最低限知っておきたい M & A 関係の基本中の基本をお伝えします。



弁護士 今井 慶貴 プロフィール

新潟市出身。新潟第一法律事務所副理事長。企業・団体チーム責任者。企業法務に精通し、M & A の専門知識と新しい情報を活用し適切にサポートいたします。

第3講座

『高齢者虐待を見据えた事業所対応と労務管理』

社労士 内山 雅視

今年、新潟県内で、特別養老老人ホームで 20 代の従業員が 90 代の女性入居者を骨折させた高齢者虐待事件が発生しました。このような虐待事件を生じさせないために、介護事業所においては、どのような対策ができるのでしょうか。本講座では、社労士が、虐待事例を防ぐための、従業員のメンタルケアや適切な労務管理対応について、虐待事例に触れながら、事業所としての対応策をお話しします。



社労士 内山 雅視 プロフィール

愛媛県出身。社会保険労務士の専門知識で多数のセミナーで活躍。介護業界の労務に力を入れており、地域から愛される企業づくりのお手伝いをいたします。



セミナーコーディネーター 弁護士 角家 理佳 プロフィール

東京都出身。新潟第一法律事務所理事。家事チーム責任者。一般民事・家事を中心に豊富な経験から、多数のメディアやセミナーでも活躍。本セミナーでは、コーディネーターを務めます。

セミナーお申込書 FAX:025-280-1552 ※11/5 までにお申し込みください

フリガナ

事業所名

フリガナ

フリガナ

※1 事業所につき2名様まででお願いいたします

お名前

・

・

参加人数 名様

〒

ご住所

電話番号

FAX

E-MAIL

@

定期セミナー等のご案内（メルマガ登録）について、[今後も案内を送っても良い ・ 今後の案内は不要]



弁護士法人
新潟第一法律事務所
Niigata Daiichi Law Office 新潟県弁護士会所属